

## 差額ベット料金をとらない民医連は素晴らしいと思いました



新人看護師の八巻舞さん（坂総合病院で）

### 看護師の八巻舞さん（新入職員）

この春、石巻赤十字看護専門学校を卒業され、めでたく看護師国家試験に合格された八巻舞さん（坂総合病院勤務）は、3.11 東日本大震災のとき、石巻の看護学校で授業を受けていました。

先生の指示で逃げようとした近くの小高い丘は、地震で崩れ、近くの人が、津波が来るのをみて逃げるように大声を上げていたといいます。どうか近くの湊小学校に避難する事ができましたが、湊小学校は避難所に指定されていて、多くの市民がずぶ濡れになったりして避難してきました。看護学校ということで学校側では、学生も含めローテーションを組んで、日夜、避難してきた人たちの健康相談に廻りました。殆ど食べ物もない中で健康相談活動は大変だったといいます。看護学校は床上浸水で使用できず、石巻専修大学の校舎を借りて、授業が再開されましたが、震災後、多賀城市から車で通学は渋滞も含めとても大変でした。

看護学生時代の病院実習で、“病院ベットの空きがなく、部屋代の高い個室しかなくて、患者さんが困っていたのを何度も見てきたので、民医連の病院が、差額ベット料金を取らないというのは素晴らしいと思いました。また、患者さんは誰でも平等に医療が受けられればよいと思います”と話してくれました。

これからは、1日1日の勤務を大事にして、早く仕事を覚え、患者さんの役に立つ看護師になりたいと話してくれました。

（2012年4月4日、宮城民医連新入職員オリエンテーション会場で）

### 3月31日（土）東松島市の仮設住宅で 炊き出し&なんでも相談会

3月31日（土）、「炊き出し&なんでも相談会」が、東松島市グリーンタウンやもとで開催され、宮城民医連からは、8名が参加して、健康相談会や支援物資の配布を行いました。



支援物資の配付と炊き出しに500名の住民が来てくれました。やはり日用品や野菜・米などが30分足らずで無くなりました。ある住民の方は、冬は隙間から冷気が入ってきて寒かった。特に夜は寒くて目が覚めた、と。隙間にはテープや気泡入りのシートを張ってしのいだ。追い炊き機能のない風呂のことも言っていた。家族の多い人は大変だった。（報告 松浦 誠）

### 気仙沼市大川の桜並木

### 震災の記録



気仙沼市大川の桜並木を訪れたのは、2011年4月29日、まだ警察による遺体の捜索が行われていて立ち入り禁止区域だった。並木道には瓦礫が散乱して、桜の木は何本も折れていたが、満開の花を咲かせていた。今年の桜並木は、被災した多くの市民を和ませてくれることだろう。桜にはそんな力が宿る。（J）